

M-GTA研究

～その魅力に触れませんか～



M-GTA研究はすでに社会福祉、看護、心理など対人支援領域を中心に展開されています。この開発者でいらっしゃる木下康仁先生の「記述の厚み」(先生のご著書名)あるお話がお聞きできます。是非ご参加ください。

と き: 2016年8月20日(土)・21日(日)

場 所: 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス

参 加 費: 会員4,000円 非会員1,000円 (交流会費5,000円)

定 員: 120名(交流会は80名)

申込方法: 【会員】研究会ホームページ(会員専用ページ)から

→締切: 7月22日(参加登録後に振込用紙を送付)

【非会員】8月1日以降にM-GTA研究会ホームページから

→締切: 8月15日(参加費を振込んだ後に参加登録)

★注意★ 非会員は基調講演のみの参加となります

※入会希望者は、お早めに西日本M-GTA研究会HPからお手続きください。

プログラム

《8月20日・土曜日》

09:30-10:30 参加受付

10:30-10:40 開会挨拶 山野則子(大阪府立大学)

10:40-12:10 基調講演 木下康仁(立教大学)「M-GTAの基本特性」

13:00-18:00 分析ワークショップ:セッション1(会員限定)

分析テーマの設定、分析ワークシートによる概念生成など

18:30-20:30 交流会

《8月21日・日曜日》

09:00-12:00 分析ワークショップ:セッション2(会員限定)

概念間関係の吟味、結果図とストーリーラインの作成など

12:05-12:20 各地方M-GTA研究会紹介

12:20-12:30 閉会挨拶 林葉子(JH産業医科学研究所)



この研究会は、M-GTA研究会と、大阪府立大学21世紀科学研究機構教育福祉研究センターとの共催で行います



分析ワークショップ(会員限定)グループ

班	会場	スーパーバイザー
1	A5棟 102	黒岩晴子(社会福祉学) 佛教大学
		倉田貞美(看護学) 浜松医科大学
2	A5棟 103	都筑千景(看護学) 神戸市看護大学
		小倉啓子(臨床心理学) ヤマザキ学園大学
3	A5棟 104	長崎和則(社会福祉学) 川崎医療福祉大学
		宮崎喜久子(健康情報学) 京都大学
4	A5棟 306	阿部正子(看護学) 長野県立看護大学
		松戸宏予(図書館情報学) 佛教大学
5	A5棟 307	佐川佳南枝(作業療法学) 熊本保健科学大学
		長山豊(看護学) 金沢医科大学
6	A5棟 308	根本愛子(日本語教育学) 国際基督教大学
		唐田順子(看護学) 国立看護大学校

● 必要な事前準備

- 参加者は上記いずれかのグループに配属されます。参加グループを選択することはできません。
- 事前に使用するデータ資料が配信されますので、各自熟読してワークショップに臨んでください。
- また、最低限、以下の文献を必ず熟読のうえご参加ください——

木下康仁(2003)『グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践』弘文堂。

木下康仁編著(2005)『分野別実践編グラウンデッド・セオリー・アプローチ』弘文堂。

木下康仁(2007)『ライブ講義M-GTA—実践的質的研究法』弘文堂。

※宿泊は8月19日(金)・20日(土)ダイワロイネットホテル堺東(〒590-0079堺市堺区新町5-13
TEL 072-224-9055 会場最寄り駅「中百舌鳥」まで3駅) 両日各30室(シングル禁煙、喫煙5室含む。
素泊まり19日8,500円・20日10,300円、朝食1,080円で追加)「大阪府立大学ふるやま」で予約して
います。8月9日(火)までにホテルに直接申し込みください。それ以外は各自でご手配ください。
※堅苦しい会ではありませんので、カジュアルな服装でお越しください。